

# わが子が伸びる親の『<sup>スキル</sup>技』研究会のご案内

主催：森上教育研究所

ご両親がちょっとした技（スキル）を修得することで、お子様がその教科を好きになり、学習意欲がわいたり、思考のセンスを身につけたりできることがあります。ご両親がこうした技を身につけてお子様と楽しみながら学ぶことで、合格に近づく知的な子育ての醍醐味を味わってみませんか。この講演会は、塾で行う講演会ではありません。むしろどんな塾に通っていても役立つ、ご家庭でできて、しかもお子様が伸びる教育技術を広く公開する企画です。

## 平成30年度後期講座予定

### 第5回 10月4日（木）女子学院 金 廣志（悠遊塾主宰）

●テーマ 女子学院入試攻略法【小6対象】

●内容 女子学院入試に絞った究極の攻略法。受験生の答案例などを参考にして4科の解法を指導します。女子学院必勝をねらう受験生と父母にとっては必見の講座です。 申込〆切10/2（火）

### 第6回 10月9日（火）国語 田代 敬貴（国語指導&執筆）

●テーマ 生徒の答案から学ぶ記述答案作成の<スキル>【小4～小6対象】

●内容 成績上位の生徒でも、わかりやすく読みやすい、言いかえれば採点者に苦痛を与えない文章を書く生徒はめったにいません。では、受験生の書く答案の問題点はどこにあるのか、どうすれば改善されるのか。タイプ別記述問題攻略の<スキル>とあわせてお話しします。 申込〆切10/4（木）

### 第7回 10月18日（木）算数 竹内 洋人（みんなの算数オンライン主宰）

●テーマ 立体図形を得点源にする学び方と攻略法【小4～小6対象】

●内容 立体図形の出題割合が増加傾向にあります。苦手なまま本番を迎えてしまうケースの多い分野ですが、問題に対する正しい取り組み方を理解しておけば実は得点源にすることも可能な分野です。4年生内容から最難関レベルまでを扱います。 申込〆切10/16（火）

### 第8回 10月25日（木）理科 恒成 国雄（Tサイエンス主宰）

●テーマ 各学年がやるべき理学的内容への取り組みについて【小2～小5対象】

●内容 「理科は、もはや暗記科目ではありません！」中学理科入試問題の思考力重視化は毎年顕著になってきています。直前の丸暗記では間に合いません。どの時期にどのようなことをやるべきなのか？具体的な理科の入試問題から、それに対応できる力をつけさせるための学年ごとの理想的な過程を説明していきます。 申込〆切10/23（火）

### 第9回 11月3日（土）算数 宮本 哲也（算数・数学・パズル教室主宰）会場：巣鴨中学校 講堂

●テーマ お子さんが低学年の間にやるべきこととやるべきでないこと【幼児～小4対象】

●内容 私の教室には算数が得意な子がたくさんいますが、彼らは例外なく、算数が大好きです。得意だから好きになったわけではなく、好きだから得意になったのです。彼らは自分で考えることを好み、人から教わることを好みません。算数が好きな子になるための環境作りを考えてみませんか？ 申込〆切11/1（木）

### 第10回 11月14日（水）国語 神尾 雄一郎（ジーワンラーニング主宰、開成弁論部監督）

●テーマ 「高大接続システム改革」を意識した新傾向問題への処方箋【全学年対象】

●内容 2018年度開成中学校国語入試に、「高大接続システム改革」を意識した問題が出題されたことで、今後「思考力・判断力・表現力」を中心に評価する出題が増えることが予想されます。与えられた教材と向き合うだけでは対処できない問題に如何に取り組むべきか、専門的知見から分析致します。 申込〆切11/12（月）

## 第11回 11月20日(火) 理科 古谷 広高 (JESDA/日本教育システム開発協会)

●テーマ 中学入試の理科で問われる思考力とはどのようなものか【小3~小6対象】

●内容 近年、「高大接続システム改革」を意識して、難関校の理科では、「思考力が必要な問題が増えている」といわれます。しかし、ここで言われている「思考力」そのものが、どのようなものかがわからなければ、結局、ただ闇雲に知識を詰め込むこととなります。実際の問題をもとに、「思考力」とはどのようなものをわかりやすく、納得がいくようお伝えします。 申込×切11/16(金)

## 第12回 11月29日(木) 社会 早川 明夫 (文教大、『ジュニアエラ』監修、学研『応用自在』等執筆)

●テーマ 2019年度入試でおさえておきたい時事問題<解説編>【小4~小6対象】

●内容 今年の入試でも約90%の学校が時事問題を出题しました。ところが、時事問題は教科書や塾のテキストにはふつうのっていません。そこでどうしても時事問題に対する対策が必要です。さらに選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたこともあり、主権者教育の必要性が高まっております。こうしたことを考えても、今後も時事問題は多くの学校で出题されると思われます。本講演においては、今年の国内外の重要な出来事を解説します。 申込×切11/27(火)

## 第13回 12月6日(木) 理科 小川 眞士 (小川理科研究所主宰&執筆)

●テーマ 理科時事問題対策【小1~小6対象】

●内容 自然現象や災害・環境問題等に関する関心が高まっている現在、理科の時事問題の出题は近年確実に増加しています。問題の内容としては、一問一答で聞くものから、時事問題を導入にデータ解釈も含めより深く理科的に考えるものまで多種多様です。最近の入試では地震や火山・気象・太陽と月と惑星などについての出题が目立ちますが、身近な現象を日頃から理科的にみつめる事も問われます。本講演においては、今年の理科に関する重要な出来事を解説し、時事問題に対する学習ポイントをお話ししたいと思います。 申込×切12/4(火)

◇時間：10:00~12:00

◇会場：森上教育研究所セミナールーム (JR・地下鉄市ヶ谷駅下車徒歩7分)

第9回講座は巣鴨中学校・巣鴨高等学校講堂 (大塚駅、池袋駅、板橋駅下車徒歩10分)

◇料金：各回3,000円(税込) ※決済完了後の返金はできません。

◇申込方法：スキル研究会WEBサイト (<http://oya-skill.com/>) よりお申込下さい。

電話での申込はご遠慮下さい。尚、本研究会は塾の関係者の方のご参加をお断りしております。

◇注意事項：

1. 開講日までにお支払いを完了して下さい。一旦お支払い頂いた受講料の返金はいたしません。
2. 欠席される場合は必ず [ent@morigami.co.jp](mailto:ent@morigami.co.jp) までご連絡下さい。無断欠席はなさないで下さい。
3. 欠席された場合、講演内容を収録した音声データへのアクセス先URLをお知らせします。

ただし聴講期間は講座開催日より1週間です。それを過ぎると聴講できなくなりますのでご注意下さい。

また、無料公開シンポジウムの音声配信サービスはありません。

4. 欠席された場合、希望者にはテキストを着払い(送料371円)でお送りします。  
欠席連絡の際にテキスト希望の有無をお知らせ下さい。
5. 決済の有無に関係なく申込の時点で席をご用意しております。

決済完了前に欠席が確定した場合も必ず [ent@morigami.co.jp](mailto:ent@morigami.co.jp) までご連絡下さい。

森上教育研究所 メールアドレス：[ent@morigami.co.jp](mailto:ent@morigami.co.jp)

データ提供：森上教育研究所 (<http://www.morigami.co.jp/>)

掲載：株式会社インターエデュ・ドットコム (<http://www.inter-edu.com/>)